

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No. 11 平成27年10月7日発行
発行責任者：高 一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org



学校づくりと人事はじまる 半年間の学校づくりを 確かめ合おう

各学校では、学校文化を大切にしたり取り組み、学校祭や学芸会に向かって子どもたちも奮闘されている頃です。ちょうど同時期に、人事異動要領が発表され、来年度に向かつての職場議論がはじまります。宗谷教職員組合では、こうした節目の時期に、それぞれの学校で「学校づくりと人事」を考えあう取り組みをすることを呼び掛けています。

確かめ合おう

校長先生から「学校づくりの到達と次年度の展望」は語られましたか？

宗谷の学校では、校長先生をリーダーに民主的な学校づくりが行われています。宗谷教育局による人事異動要領の提示を受けて、校長先生は民主的な学校づくりの観点から人事の進め方を提示するのが一般的です。そこには、この半年間の学校づくりの成果や課題、来年度の教職員構成の見通し、次年度における学校づくりの重点などが示されるのが一般的です。最近では、こうした丁寧な取り組みがすべての職場で行われて

いない現状もあるようです。職場の全教職員が、自分の問題として次年度に向かう学校づくりの展望を持つために大切にしたい視点です。

〇〇学校人事の進め方

【学校経営の観点】
校訓 「力合わせ」
27年度経営の重点
学校づくり
授業づくり・・・
28年度経営の柱
民主的な学校づくり
授業づくり・集団づくり・・・
【人事の進め方】
管内課題
〇〇学校の教職員定数の見直し
校長・教頭・学担・事務・養教・〇〇加配
.....
教職員構成
長年勤務者が■人、異動対象者は△人。
こうした方が機械的に全員異動すると学校づくり上の課題は.....
人事を進めるにあたって
・次世代のリーダーの生み出し
・特別支援学級の.....



分会会議で「学校づくりの到達」を確かめ合おう

九月から、各支部では「学校づくりと人事の学習会」に取り組んできました。毎日の多忙の中で学習会に参加するのは、それだけでも大変なことですが、それでも、語り合うことで「職場の『いま』が見えてきたり、様々

人事学習会の感想より

毎年人事の学習を聞いても、まだまだよくわからない点や大事にしなければならぬ点に気がされます。多くの先生方と確かめ合うことの大切さを実感した学習会でした。ありがとうございました。

来年度の人事の課題について、具体的な質問にも答えていただき、改めて学べた貴重な機会になりました。ありがとうございました。

職場のこと、管内のことなど、色々と考えながらすすめる人事は大変だなあといつも思います。でも、不公平感が出ないように、一人ひとりがしっかり考えて結論を出すことが大切ですし、みんながそういう意識を持てたらいいなあと思います。



学校づくりと人事の第一次交流資料

宗谷教組として「学校づくりと人事」の観点で大切にしたい

- 一〇の項目をまとめているのが「第一次懇談資料」です。
- 人事の基本について
- 民主的な協議と具申の関係
- 民主的な要領の運用
- 管内課題について
- 私たちの実践力の向上
- 各市町村が進める条件整備などについて書いています。
- こうしたひとつひとつを丁寧
- に扱えば、人事で哀しい思いをする先生、困難を解決できない学校は生まれません。

学校づくりと人事に関する日程

「学校づくりと人事」は分会・支部と本部が力を合わせて取り組まないと、運動が進まない難点もあります。デスクマットに挟むなどして意識してみましよう。



◆人事異動要領が出される

第一次懇談資料で人事の基本を語り合おう

◆学校づくりと一人ひとりの要求について分会会議で語ろう

分会では分会懇談資料をつくろう。

◆「やむを得ない事情」に関わる人事の理解と納得を求め合おう

本人・分会・支部・本部で要求の練り合いをしましょう。

組合調書は10月31日本部集約です。



◆支部は分会の様子を聞き取り支部懇談資料をつくろう

女性部「生き生きアンケート」も踏まえて街の教育を考えよう

◆人事面接に向かう不安や思いを語り合うことで整理しよう

局面接の前に、不安な思いや要求を確かな思いにしよう。

◆宗谷教組として、2016年度人事の課題をまとめます。

リレーエッセイ「言の葉」

9月12日(土)、札幌において行われた全北海道教職員組合 第28回中央委員会では、各単組から情勢、それぞれの活動、課題等々、様々な観点で討論が行われました。

特に話題に上がっていたのが、やはり「戦争法案」についてでした。その中でも、私自身が改めて感心させられたのが、教職員投票や抗議FAXなど、組合・未組・管理職の枠を超えて取り組むことができた活動がある、ということでした。「日々忙しい」のは、誰しもでしょうが、その中で安保法案に向かう取り組みでここまで共闘できたのは、先生方が「通ってしまったらどうなるのか!」「絶対に許すことはできない!」という思いで1つになれたからでしょう。立場の違う先生方が一つの方向に向かうことができたのは素晴らしい、と思うとともに、この先も力を入れていかなければならない活動だな、と思いました。

また、討論の中では、学力学習状況調査や〇〇スタンダードについての討議も多くなされました。子ども達の健やかな成長・発達を目指す教育にふさわしいのか?と考えさせられる昨今の情勢、現実と向き合いながら、子ども達のためにどう対処していくべきか、前述の安保法案のみならず、立場を超えた語りや、職場・地域・家庭に広め、みんなで考えていかなければならないと思いました。

最後に、各単組の先生方から聞こえてくるお話で、(地域によっては、)様々な部分で管理・統制が強いられてしまっている地域がある、と知りました。そんな中、宗谷の教育現場は(他地域に比べると)まだ民主的なほうだと思います。ここには、これまで組合で頑張ってきた先輩方が管理職となり、理解を示してください、宗谷教職員組合の活動が活発に行われていたりするからでしょう。今後も様々な課題に取り組んでいかなければならないと思いますが、子ども達のために頑張っていかなければいけない、と感じました。

【浜頓別支部/佐々木 貴】



「育」など本行われます。一日目の夕方は「教育の夕べ」という全体講演会が行われます。今年は北海道文学館長の池澤夏樹さんが「原発、沖縄基地、憲法、教育…日本の将来、北海道の未来」という題目でお話をされます。メインは一日目の午後から2日目の夕方まで行われる分科会です。教科教育から生活指導、地域における子育て、不登校・登校拒否・高校中退、環境・公害と教育など、幅広い分野に別れ、学びを深めます。年齢層は大学生から退職されたベテランまでいらっしやいます。全道各地の学校の様子を聞き、行われている実践を学ぶと、自分の視野が広がります。また全道で奮闘されている仲間に出会うと元気が出ます。ぜひ十一月はお誘いあわせの上、学びに行きませんか?(えんどー)

みんなで行こう!

合同教研!!

食欲の秋、読書の秋、運動の秋、そして組合としては学びの秋です。今年も合同教研の季節がやってきました。毎年、宗谷から札幌(昨年からは江別市の札幌学院大学)へ三〇人前後が学びに行っています。

ここで「合同教研とは何なのか?」

ということを確認しましょう。合同教研とは、年に一度札幌で行われる教育研究集会のことです。二日日程で行われ、一日目の午前中はテーマ別討論が行われます。その年の情勢によって内容が変わり、今年も「憲法と平和」、「十八歳選挙権」「豊かな心を育む道徳教



豊富小学校は新校舎になり、1ヶ月が過ぎました。旧校舎で職員トイレがあったときは職員で輪番制にしてトイレ掃除をみんなでした。しかし校舎建築のため旧校舎の一部を取り壊した際、職員トイレがなくなり、トイレ掃除が行われなかった時期がありました。新校舎には(もちろんですが)職員トイレがあります。「トイレ掃除を再開させよう」と声が挙がり、当番表を組み立てていました。

ここで発覚した驚きの事実があります!豊富小学校の男性職員は13人います。そのうち7人が「あ行」なんです。過半数ですね。この世にいろいろな苗字がある中で、「ここまで苗字の偏りがある職場はないよね」という話で職場が盛り上がりました。何気なく見つけた、場が和むお話でした。(えんどー)

教授学習会の2次対策で、「みんなで合格を勝ち取るためにカツ丼を食べよう」ということでカツ丼を食べたことがありました。しかし、学ぶために時間がおしい臨教部の先生方。そこで思いついたのが、グループに分かれてご飯を食べながら課題について意見を出し合うということをしました。実はこれ、都会の企業ではよく行われているようで、昼食(ランチ)を食べながら会議(ミーティング)をするということでランチミーティングと言われるものです。



やってみよう ランチミーティング



先日の支部代表者会議でも同じようにランチミーティングが行われました。その様子を見てみると、少人数になって食べ物を食べながらだと、お話しが進むということです。食べることによって口が動き、会話が弾むのでしょうか。ぜひみなさんの分会でも出前を取って…、お菓子をつまみながら…、子どもの様子を交流したり、議題の討論をしたりしてみませんか?(えんどー)